

令和 8 年度第 1 回
公益社団法人牛久市シルバー人材センター
定 時 総 会

と き 令和 8 年 6 月 23 日(火)

午前 9 時 30 分から

ところ 牛久市総合福祉センター 第 1.2.3 会議室

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

牛久市女化町859-3総合福祉センター内

TEL029-871-1468

定時総会次第

1. 開会のことば
2. 理事長挨拶
3. 来賓祝辞
4. 会員出席状況報告
5. 議長選出
6. 議事録署名人選任
7. 議 事

報告第 1 号 令和 8 年度 事業計画について

報告第 2 号 令和 8 年度 収支予算について

報告第 3 号 令和 7 年度 事業報告について

議案第 1 号 令和 7 年度 収支決算(案)について

会計監査報告

議案第 2 号 役員報酬等支給総額の承認(案)について

議案第 3 号 理事の選任(案)について

8. 閉会のことば

報告第1号

令和8年度事業計画について

公益社団法人牛久市シルバー人材センター令和8年度事業計画について、
以下の通り報告いたします。

令和8年6月23日提出

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

理事長 清水治郎

令和8年度 事業計画

近年、人口構造等が大きく変化し、人口減少や少子高齢化の問題点として労働人口が減少していくことが危惧されております。国においては、こうした環境の変化に合わせて、生涯現役で活躍できる働き方が検討されており、シルバー人材センターも機能の強化が求められております。

フリーランス法施行による契約方法の変更や会員の皆様への契約条件の明示など準備・試行を進めてまいりましたが、今年度は本格的に実施し、会員の皆様が安心して働ける環境整備やインボイス負担分の削減を行いたいと考えております。

高年齢者雇用安定法が改正され、社会全体の定年が徐々に引き上げられている中、当センターにおいても入会時年齢の高齢化や高齢による退会会員数の増加として現れ、現会員の平均年齢は76.2歳となっております。今後も会員の高齢化に対するサポート事業を行いながら広報活動を強化し会員増につなげてまいります。

令和8年度の事業計画については引き続き会員の拡大や受注の確保に注力し内部経費の見直しや削減の努力を続け、安定した事業運営を図ると共に、会員がいつまでも健康で生きがいを持ち地域に貢献できる環境づくりを目指してまいります。

基本方針

- 1.センター事業の周知活動の強化
- 2.会員の拡大
- 3.就業機会の拡大
- 4.会員の安全の確保と健康管理の推進
- 5.会員活動の活性化
- 6.安定的な事業運営

1. センター事業の周知活動の強化

市民や事業者の皆様にセンターをより広く知っていただき、事業をご利用いただけるよう、ホームページやチラシ・ポスターなど、さまざまな広報手段を使って積極的にPR活動を行い、関係機関とも連携して周知に取り組みます。

- ① センター事業をPRするため、市報「広報うしく」へ年4回の掲載を依頼します。
- ② 封筒をグリーンに統一し、ホームページにアクセスできる二次元コード(QRコード)を印刷します。
- ③ センターの最新情報をタイムリーに発信するため、ホームページを随時更新します。
- ④ 市内の公共施設や商工会のラックにチラシを設置し、新たな設置場所さらには、ポスターの掲示先を開拓します。
- ⑤ ホームページや会員専用サイト「Smile to Smile」の掲載内容を定期的に見直し、誰にでも分かりやすい情報を提供します。
- ⑥ センター独自事業「リサイクルショップ」のPRをホームページに掲載し、広く周知します。

2. 会員の拡大

新しい会員の入会を促進するとともに、既存会員が長く活躍できる環境を整え、センターの安定運営を目指します。また、会員がより質の高い仕事を提供できるよう、入会時から継続して心構え等をお伝えし、「安心して活動できる」環境を整え、会員の増員を目指します。

(1) 会員の拡大

- ① 随時入会の説明を行います。
- ② 出張入会説明会を、中央生涯学習センターにて年4回開催します。
- ③ ホームページや市報「広報うしく」で、随時会員を募集します。
- ④ 会員一人ひとりが、知人・友人にセンターを紹介し、口コミでの会員募集に取り組みます。
- ⑤ 新入会員の登録を1~2週間以内に完了し、できる限り入会直後にきめ細やかな就業相談を行うことで、早期に仕事に就いていただけるよう支援します。また、退会を防ぐための丁寧なフォローを行います。

(2) 会員のスキルアップ

- ① 新入会員を対象に、入会時の面談で接客・応対マナーについてご説明します。
- ② 就業中の会員に向けて、時代の変化に合わせた仕事への取り組み方や、より丁寧な接客・応対ができるよう、役立つ情報を定期的に発信します。
- ③ 会員がセンター事業への理解を深め、タイムリーに発信する情報を気軽に閲覧さらには、就業

時の明示書を確認しやすくするため、スマートフォンの使い方の講習会を年10回開催し、デジタルスキルの向上を目指します。

(3) 柔軟な会員制度の運用

- ① 会員の高齢化に伴い退会という選択肢だけでなく、就業時に築いたシルバーの仲間と仕事以外にも気兼ねなく交流でき、シルバーの活動にも参加できる会員制度の検討を行います。

3. 就業機会の拡大

現在の仕事をさらに充実させるとともに、新しい仕事を積極的に開拓し、受注件数の増加と仕事の種類・内容の多様化を目指します。就業を希望する会員に、知識と経験に応じた就業機会を提供します。

(1) 就業機会の拡大

少子・高齢社会やデジタル化が進むなかで、会員のこれまでの経験・知識・技術を活かせる、新しい仕事の機会を広げます。

- ① 企業や事業所を訪問してPR活動や営業を行い、新たな仕事の発掘に取り組みます。
- ② 会員一人ひとりの丁寧な就業が次の世代へも継続できるよう会員をサポートします。
- ③ 請求書にパンフレット・チラシなどを同封し、既存の発注者にレポートしていただけるよう働きかけるとともに、新規受注の拡大を図ります。
- ④ 就業に関する相談は常に受け、問題解決に対応し、特に新入会員や仕事のない会員には積極的に声をかけ、一人でも多くの方が就業できるよう支援します。
- ⑤ 事務系・技術系など、これまでにない多様な職種での就業機会を開拓します。
- ⑥ シルバー派遣事業の就業者数が増えていることから、茨城県シルバー人材センター連合会と連携して、産業医の選任と安全衛生委員会の設置準備を進めます。
- ⑦ 会員専用サイト「Smile to Smile」への登録会を随時開催し、仕事情報の提供や就業条件の通知がスムーズに行えるシステムの普及を進めます。

(2) 就業情報の迅速な提供

会員にいち早く仕事の情報をお届けし、スムーズにマッチングできる体制を整えます。

- ① 毎月、最新の求人情報をホームページに掲載します。
- ② 急な仕事の依頼にも素早く対応できるよう、会員専用サイト「Smile to Smile」やホームページを活用して、仕事情報を会員に迅速に伝えます。

(3) 適正就業の推進

会員と発注者の双方に対し、センターの仕組みをよく説明し、「適正就業ガイドライン」に沿った正しい就業が行われるよう取り組みます。

- ① 職員が就業現場を巡回して仕事の内容を確認し、適正な就業が行われているかチェックします。
- ② 請負・委任・派遣のいずれの業務についても、業務内容に応じた適切な契約を結び、法令を遵守します。
- ③ 新入会員に対しては、入会時の面談で適正就業について説明します。

(4) 新契約方式「包括的契約」について

令和8年度より、会員・発注者・センターの三者が一つの契約を結ぶ「包括契約」を導入します。

- ① 今後導入する「包括契約」について、会員に分かりやすく説明・周知するとともに、民間・個人の発注者へも丁寧に説明し契約につなげます。

4. 会員の安全確保と健康管理

会員が安心して安全に働けることを最優先に考え、安全委員会とともに「1000日間事故ゼロ」を目標に、事故防止と健康維持の取り組みを進めます。

(1) 会員の安全確保 事故防止の徹底

就業中・通勤中の事故を防ぐため、安全パトロールの強化と安全意識の向上に取り組みます。

- ① 契約仕様書に安全に関する注意事項を明記し、安全に配慮した就業を徹底します。
- ② 「安全就業標語」を募集し、ホームページおよび会員専用サイト「Smile to Smile」に掲載して会員の安全意識向上を図ります。
- ③ 安全委員会が定期的に就業現場を巡回し、安全パトロールを強化します。
- ④ 「安全就業10か条」を定め、新入会員および就業中の会員全員に周知します。
- ⑤ 令和8年4月1日から自転車に関する交通ルールの変更に伴い、自転車を利用する会員に向けて、改正内容を分かりやすくお伝えし、事故防止を徹底します。
- ⑥ 熱中症予防を前年度より強化し、水分補給や休憩など熱中症対策を呼びかけます。
- ⑦ 7月を「安全就業強化月間」とし、県連合会主催の「安全大会」に参加します。

(2) 健康管理の強化

会員の対し、健康管理の徹底を働きかけます。

- ① ホームページに発信する「安全だより」に、季節に合った健康情報を掲載します。
- ② 会員の安全就業に向けて、積極的な健康診断の受診を勧めます。

5. 会員活動の活性化

会員同士の交流を深め、地域での活動を広げることで、センターの魅力アップと社会貢献を目指します。

(1) 会員同士の交流の活性化

- ① 現在の同好会を広く会員に紹介し、新たに仲間の増員を促し、新たに会員同士の就業以外の交流をサポートします。

(2) 会員交流・親睦活動の推進

- ① 地域の会員同士のつながりを就業以外の活動でも強化するため、新たな同好会の設立支援を行い会員同士のつながりを強化します。

(3) ボランティア活動

- ① 地域のイベントにボランティアとして参加し、地域社会への貢献を行います。
令和8年度は以下のボランティア活動を実施します。
 - ・牛久かっぱ祭り 清掃
 - ・牛久シティマラソン 誘導案内
- ② 地域で必要とされているボランティア活動を積極的に把握し、センターの社会貢献活動に取り入れます。

6. 安定的な事業運営

会員が主体的に活動できる運営体制を整えながら、センター全体の業務を効果的・効率的に進めます。

(1) 自主・自立の運営

- ① 新入会員の面談時に、個人情報・企業情報の取り扱いを含む、就業に関するコンプライアンス(法令・ルール遵守)研修を実施します。
- ② 各委員会が情報を共有し、連携を深めることで、センター全体の活動をより活発にします。
- ③ 会員とセンターの情報共有を円滑にするため、会員専用サイト「Smile to Smile」の普及を進め、業務のデジタル化を推進します。

(2) 安定的な事業運営

- ① 会員へのサービス向上と公益法人としての適正な運営を両立しながら、業務の効率化を進めます。
- ② 職員一人ひとりが情報管理の重要性を意識し、センター内の情報が外部に漏れないよう、日常業務の中で徹底した情報管理を行います。

(3) 公益法人制度改革への対応

- ① 公益法人として関係法令を遵守し、経費削減等による効率的で効果的な財政運営に努めます。

各委員会活動実施計画

1.総務委員会

No.	事業名	事業内容・目的	実施時期
1	総会の運営	組織の民主的運営 ・通知方法・議事内容・会場準備等の把握・計画	令和8年6月
2	法令に沿った 規程見直し	法令遵守と就業環境の整備 ・現行規程の見直し ・カスタマーハラスメント対策規程の検討・策定	令和8年度中
3	健康診断受診推進	会員の健康管理と就業安全の確保 ・新規入会時の健康診断受診案内・推進	入会時随時
4	会員の親睦・交流の推進	会員の交流及びセンターのPR ・会員参加型の日帰りバスツアー等を企画・実施 ・各種イベントの企画・実施	令和8年度中 (時期検討中)
5	地域貢献活動	地域のイベント参加型ボランティアの推進 ・かっぱ祭り翌日早朝清掃 ・牛久シティマラソン	令和8年度中
6	会員による 自主自立の推進	会員の自主的な運営への協力体制の確保 ・日報の報告書等の記入欄の改善	令和8年度中

2.安全委員会

No.	事業名	事業内容・目的	実施時期
1	安全パトロール	現場における安全確認と改善 ・就業現場の安全状況を巡回・点検し、必要な指導・改善を実施	年4回程度
2	熱中症対策	夏季の熱中症事故防止 ・7月・8月の屋外作業における熱中症対策を検討し周知徹底	令和8年5月中
3	安全・適正就業月間の 呼びかけ	集中的な安全啓発活動 ・全国シルバー人材センター事業協会による安全強化月間に て、重点的な安全啓発活動を実施	令和8年7月
4	安全スローガン募集	会員の安全意識向上 ・会員から安全に関するスローガンを募集し、優秀作品を選定・ 掲示(ホームページへ掲載)	令和8年6月募集
5	安全十ヶ条の策定	就業時の安全意識の明確化 ・安全ルールを10項目にまとめて策定・周知	令和8年度中
6	事故ゼロボード作成	事故防止意識の可視化と向上 ・事故ゼロ日数をカウントする掲示板を作成	令和8年年度中
7	月間安全テーマの決定	継続的な安全意識の喚起 ・毎月安全啓発テーマを決定し、会員へ発信	毎月
8	安全講習会への参加	安全に関する知識・情報の習得 ・茨城県シルバー人材センター連合会主催の安全大会へ参加 し、安全意識の向上を図る	令和8年度中

3.事業委員会

No.	事業名	事業内容・目的	実施時期
1	出張入会説明会の開催	新規会員の募集 ・地域の公共施設等での入会説明会を開催し、シルバー人材センターの活動を紹介	年4回実施
2	独自事業の運営支援	会員の就業機会の拡大および収益源の多様化 ・「リサイクルショップ・工房」事業の充実 ・新たな独自事業の検討	令和8年度中
3	入会促進キャンペーン	新規入会者の促進 ・新規入会者へオリジナルタオルをプレゼント (なくなり次第終了)	令和8年4月より
4	会員向け講座企画	会員のスキルアップの向上 ・スマホ講習会等の企画実施	令和8年度中
5	シルバー認知度向上	センターの認知度向上と新規会員・発注者の開拓 ・封筒の刷新、チラシ設置場所の拡大	令和8年度中

4. 広報委員会

No.	事業名	事業内容・目的	実施時期
1	ホームページ会員コーナーの活性化	会員のモチベーション向上と活動の見える化 ・就業中の会員紹介記事を掲載 ・会員からの投稿を掲載	通年
2	デジタル状況アンケートによる情報提供戦略の立案	会員のデジタル環境把握と支援策検討 ・総会通知時にアンケートを配布し、会員のデジタル活用状況を調査	令和8年6月 (総会通知時)
3	Smile to Smileの普及	会員専用サイトの活性化 ・発信内容の改善・提案を実施	通年
4	ホームページの普及	情報発信の強化とアクセス向上 ・ホームページの内容充実と利用促進を図る	通年
5	市報「広報うしく」への掲載	市民への情報発信と認知度向上 ・市報「広報うしく」へセンターの情報を年4回掲載	年4回
6	デジタル格差の解消	会員のデジタルスキル向上 ・スマートフォン講習会の開催	2～3か月ごと

報告第 2 号

令和 8 年度 収支予算について

公益社団法人牛久市シルバー人材センター令和8年度収支予算について、
以下の通り報告いたします。

令和8年 6 月 23 日提出

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

理事長 清水治郎

令和8年度公益社団法人牛久市シルバー人材センター

収支予算書（正味財産増減予算書）

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

（単位：円）

科目	公益目的 事業会計	法人会計	予算額	前年度 予算額	増減
I 一般正味財産増減の部					
I. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受託事業収益	85,450,000	10,500,000	95,950,000	146,900,000	△ 50,950,000
受取配分金	76,500,000		76,500,000	116,300,000	△ 39,800,000
受取材料費等	8,450,000		8,450,000	14,100,000	△ 5,650,000
受取事務費	500,000	10,500,000	11,000,000	16,500,000	△ 5,500,000
包括的契約に係る収益	6,590,250	5,409,750	12,000,000	0	12,000,000
受取センター材料費等	6,000,000		6,000,000	0	6,000,000
受取センター業務委託料	590,250	5,409,750	6,000,000	0	6,000,000
労働者派遣事業受託収入	8,211,000		8,211,000	6,000,000	2,211,000
労働者派遣事業受託収入	8,211,000		8,211,000	6,000,000	2,211,000
職業紹介事業受託収益	10,000		10,000	0	10,000
職業紹介事業受託収益	10,000		10,000	0	10,000
受取会費	1,350,000		1,350,000	1,300,000	50,000
正会員受取会費	1,350,000		1,350,000	1,300,000	50,000
受取補助金等	23,478,000		23,478,000	25,337,000	△ 1,859,000
受取連合交付金	10,478,000		10,478,000	12,337,000	△ 1,859,000
受取市補助金	13,000,000		13,000,000	13,000,000	0
受取寄付金	5,000		5,000	5,000	0
受取寄付金	5,000		5,000	5,000	0
雑収益	25,000		25,000	20,000	5,000
受取利息	15,000		15,000	10,000	5,000
雑収益	10,000		10,000	10,000	0
経常収益計	125,119,250	15,909,750	141,029,000	179,562,000	△ 38,533,000
(2) 経常経費					
事業費	125,119,250	0	125,119,250	163,857,324	△ 38,738,074
支払配分金	76,500,000		76,500,000	116,300,000	△ 39,800,000
支払材料費等（受託事業）	4,150,000		4,150,000	11,100,000	△ 6,950,000
支払材料費等（包括的契約）	6,000,000		6,000,000	0	6,000,000
給料手当	23,580,750		23,580,750	21,398,250	2,182,500
臨時雇賃金	0		0	937,500	△ 937,500
法定福利費	3,838,500		3,838,500	3,585,750	252,750
退職給付費用	1,680,000		1,680,000	1,597,500	82,500
福利厚生費	75,000		75,000	75,000	0
会議費	0		0	0	0
通信運搬費	787,500		787,500	772,500	15,000
減価償却費	0		0	6,574	△ 6,574
消耗品費	555,000		555,000	539,250	15,750
委託費	30,000		30,000	30,000	0
印刷製本費	97,500		97,500	165,000	△ 67,500
賃借料	2,850,000		2,850,000	2,550,000	300,000
保険料	2,250,000		2,250,000	2,000,000	250,000
諸謝金	20,000		20,000	20,000	0
租税公課	250,000		250,000	250,000	0
支払負担金	315,000		315,000	315,000	0
雑役務費	2,100,000		2,100,000	2,175,000	△ 75,000
教材費	30,000		30,000	30,000	0
旅費交通費	0		0	0	0
地域協力費	10,000		10,000	10,000	0
支払手数料	0		0	0	0

科目	公益目的 事業会計	法人会計	予算額	前年度 予算額	増減
管理費	0	15,909,750	15,909,750	15,713,441	196,309
役員報酬		730,000	730,000	800,000	△ 70,000
給料手当		7,860,250	7,860,250	7,132,750	727,500
臨時雇賃金		0	0	312,500	△ 312,500
法定福利費		1,279,500	1,279,500	1,195,250	84,250
退職給付費用		560,000	560,000	532,500	27,500
福利厚生費		25,000	25,000	25,000	0
会議費		40,000	40,000	40,000	0
旅費交通費		10,000	10,000	10,000	0
通信運搬費		262,500	262,500	257,500	5,000
減価償却費		0	0	2,191	△ 2,191
消耗品費		185,000	185,000	179,750	5,250
委託費		0	0	0	0
印刷製本費		32,500	32,500	55,000	△ 22,500
賃借料		950,000	950,000	850,000	100,000
保険料		0	0	121,000	△ 121,000
租税公課		2,800,000	2,800,000	3,000,000	△ 200,000
支払負担金		105,000	105,000	105,000	0
雑役務費		790,000	790,000	815,000	△ 25,000
支払手数料		270,000	270,000	270,000	0
雑費		10,000	10,000	10,000	0
経常費用計	125,119,250	15,909,750	141,029,000	179,570,765	△ 38,541,765
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	△ 8,765	8,765
基本財産評価損益等			0		0
特定資産評価損益等			0		0
投資有価証券評価損益等			0		0
評価損益等計			0		0
当期経常増減額	0	0	0	△ 8,765	8,765
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計		0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計		0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額			0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高					0
一般正味財産期末残高					0
II 指定正味財産増減額					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高			0		0
III 正味財産期末残高					0

収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

科目	予算額	前年予算額	増減
【投資活動収支の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
(投資活動支出)			
固定資産取得支出	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0
退職給与引当資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0

2. 借入金限度額 短期借入金限度額は、10,000,000円とする。

報告第3号

令和7年度事業報告について

公益社団法人牛久市シルバー人材センター令和7年度事業報告について、
以下の通り報告いたします。

令和8年6月23日提出

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

理事長 清水治郎

令和7年度事業報告

I 概況

令和7年度の事業活動においては、高年齢者雇用安定法の改正等により当センターへの入会会員年齢は上昇し、会員数も若干減少はしているものの、シルバー人材センターの存在意義は引き続き高いものと思われます。

事業収支については収入合計額1億6,121万円、支出合計額1億5,953万円となり、168万円のプラス決算となりましたが、本年度事務管理基幹システムの全面改修及び事務機器の更新を行い、固定資産取得費として162万円支出いたしましたので実質収支は5万9千円の収支相償の決算とすることが出来ました。

収支相償となつてはおりますが、引き続き事業経費の見直しや削減の努力を続け、安定した事業運営を目指します。

令和8年4月1日現在、牛久市常住者人口は83,183人、高齢者人口(65才以上)は25,732人となり高齢化率は30.93%であり、高齢者の地域貢献を示す数値の一つとして考えられる当センターへの入会率は1.46%となっているのが現状です。

今後も高齢者の就業ニーズに適切に応えられるよう事業を見直し、これまで蓄積したノウハウを有効に活用して、幅広い就業機会の確保、提供に努力してまいります。

以下、基本方針の実施状況を報告いたします。

2 事業状況

(1) 包括契約への移行

包括契約への移行に向け、周知啓発及び実施準備を進めました。

- ・公共及び一般家庭の請負業務について、発注者及び会員の皆様に対し、新たな契約方法の趣旨、契約関係の整理及び就業条件明示の必要性について説明を行い、円滑な移行に向けた理解促進に努めました。
- ・ホームページ上に包括契約に関する専用コーナーを設け、制度の概要、契約方法の変更点及び関係者への周知事項等を掲載し、発注者及び会員の皆様への啓発を行いました。
- ・理事会等において導入に関する協議を重ね、令和8年度からの本格実施に向けた準備を進めました。

(2) 会員の拡大

会員の拡大に向け、説明会、講習会及び広報活動を実施しました。

- ・牛久市中央生涯学習センターにおいて、出張説明会を4回開催し、42名の参加がありました。
- ・入会後の不安解消と就業意欲の向上を図るため、はじめて講習会を3回開催し、センター事業の概要、就業上の留意事項及び安全就業に関する基本事項等について説明を行いました。
- ・市報「広報うしく」、行政施設への会員募集チラシの設置、ホームページ、会員専用サイト「Smile to Smile」を活用し、センター事業の周知と会員募集の広報活動を継続いたしました。
- ・ハローワーク竜ヶ崎高齢者相談窓口「就労・生活支援アドバイザー」の担当者と連携し、会員募集チラシを設置するとともに、連携を図りながら会員の拡大に努めました。

(3) 高齢会員向け就業確保と就業率の向上

高齢会員が就業しやすい環境づくりと就業率の向上に努めました。

- ・高齢化する会員構成を踏まえ、体力的負担の少ない就業の確保に努めるとともに、短時間の仕事を積極的に受注し、就業機会の拡大を図りました。
- ・会員の希望職種、就業可能時間及び健康状態等を踏まえた就業のマッチングに努め、会員一人ひとりの状況に応じた就業機会の提供を進めました。
- ・ホームページや会員専用サイト「Smile to Smile」を活用し、求人情報やセンターからのお知らせを
適時提供することにより、就業情報の迅速な発信に努めました。
- ・「介護予防・日常生活支援事業」のサービス提供を実施しました。さらに行政と連携しふるさと納税事業の返礼品として「空き家見守りサービス事業」の就業機会拡大に取り組みました。

(4) センター事業の普及啓発

会報及びホームページを活用し、センター事業の普及啓発を進めました。

- ・会報「シルバーだよりうしく」を8月及び1月に発行し、センターの活動状況、就業情報、安全就業に関する注意喚起その他必要な情報を会員及び関係者の皆様に周知しました。
- ・ホームページの改訂を行い、掲載内容の見直し及び更新の充実を図るとともに、お知らせ欄や各種案内を適時更新し、タイムリーで分かりやすい情報発信に努めました。
- ・独自事業「リサイクルショップ」については、市の環境対策の一環として、持続可能な地域社会を目指す取組であることを踏まえ、ごみの減量を目指し販売促進を図るため、市担当課への働きかけを行うとともに、商品案内をホームページに掲載し、事業のPRに努めました。

(5) 安全就業及び適正就業

事故防止と安全意識の向上を図り、安全就業の徹底に努めました。

- ・「事故ゼロ」を目標に、安全委員会を中心として、安全・適正就業強化月間の周知、安全就業に関する注意喚起及び事故情報の共有等を行い、会員一人ひとりの安全意識向上に努めました。
- ・ホームページへ「無事故記録」を日々掲載し、安全就業への意識向上に努めました。
- ・事故発生時には、会員及び事務局にて事故の分析を行い、必要に応じて会員サイト「Smile to Smile」へ発信し全体の事故防止につながるよう事故の共有を図りました。
- ・就業現場における安全確保のため、安全パトロールの実施、熱中症対策の周知及び健康診断

受診の呼びかけ等を行い、事故の未然防止と安全管理の徹底を図りました。

- ・関係機関と連携しながら就業環境の確認及び安全対策の強化に努め、会員の皆様が安心して就業できる環境づくりを進めました。

(6) 安定的な事業運営

安定的な事業運営の確保に向け、法令遵守、効率的運営及び情報提供の充実に努めました。

- ・公益社団法人として関係法令の遵守に努めるとともに、事業経費の見直し及び削減を進め、効率的かつ効果的な財政運営に努めました。
- ・ホームページや会員専用サイトの活用、総会資料の簡素化及び二次元コードの活用など、デジタル化の推進を図り、迅速で分かりやすい情報提供に努めました。
- ・会員の就業希望や発注者のニーズの把握に努めるとともに、事務局職員の資質向上及び会員との意思疎通の充実に努め、相談しやすい体制づくりを進めました。

3.実績報告

(令和8年3月31日現在)

No.	項目	区分	令和7年度	令和6年度	増減	単位
【会員の状況】						
1	登録会員数	合計	376	401	▲25	人
		男	290	308	▲18	人
		女	86	93	▲7	人
2	平均年齢	全体	76.3	75.2	1	才
		男	76.7	75.7	1	才
		女	75.0	73.4	2	才
3	会員入会数	合計	40	53	▲13	人
		男	29	32	▲3	人
		女	11	21	▲10	人
4	新入会員平均年齢	全体	72.2	71.1	1	才
		男	72.4	72.2	0	才
		女	71.4	69.5	2	才
【受注・契約の状況】						
5	受注件数	合計	729	814	▲85	件
		請負	693	775	▲82	件
		派遣	36	39	▲3	件
6	契約金額	合計	214,483,781	214,233,552	250,229	円
		請負	126,528,344	136,949,823	▲10,421,479	円
		派遣	87,955,437	77,283,729	10,671,708	円
7	会員への支払	合計	167,287,726	166,357,377	930,349	円
		請負	98,066,250	107,251,317	▲9,185,067	円
		派遣	69,221,476	59,106,060	10,115,416	円
8	事務費・派遣委託費	合計	22,633,909	20,657,756	1,976,153	円
		請負	14,598,972	14,542,927	56,045	円
		派遣	8,034,937	6,114,829	1,920,108	円
9	発注元割合(請負)	公共団体関係	41.2%	38.5%	2.7	ポイント
		一般家庭・事業所	58.8%	56.8%	2.0	ポイント
		独自事業	5.5%	4.7%	0.8	ポイント
10	発注元割合(派遣)	公共団体関係	5.2%	5.7%	▲0.5	ポイント
		事業所	94.8%	94.3%	0.5	ポイント
【就業状況】						
11	就業延人数	合計	32,278	33,867	▲1,589	人
		請負	18,938	21,593	▲2,655	人
		派遣	13,340	12,274	1,066	人
12	就業実人数	合計	401	424	▲23	人
		請負	270	295	▲25	人
		派遣	131	129	2	人
13	就業率	請負	71.8%	73.6%	▲1.8	ポイント
		派遣	112.0%	118.3%	▲6.3	ポイント

主な会議、研修及びその他の事業報告

実施日	内容	参加者等
【4月】		
4月8日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長、次長
4月10日	総務安全委員会	役員4名(総務安全委員)、局長、次長
4月15日	茨城県シルバー人材センター連合会補助金会計研修会	局長、次長
4月18日	はじめて講習会	参加者15名、理事1名、次長
【5月】		
5月8日	総務安全委員会	役員5名(総務安全委員)、局長
5月12日	会計監査	監事2名、局長、次長
5月13日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長
5月14日	委員長会議	理事長、副理事長、役員、局長
5月20日	理事会	理事12名、監事2名、次長、職員1名
5月22日	包括契約先進地シルバー状況報告会(ワークビジョン豊洲)	県南シルバー代表センター各1名(局長)
5月23日	はじめて講習会	参加者5名、理事1名、次長
5月28日	茨城県シルバー人材センター連合会派遣研修会(Zoom)	派遣担当職員1名
【6月】		
6月4日	茨城県シルバー人材センター連合会派遣元責任者研修会	職員1名
6月10日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長
6月12日	総務安全委員会	役員5名(総務安全委員)、局長
6月13日	委員長会議	理事長、役員、局長
6月18日	茨城県シルバー人材センター連合会総会	局長
6月20日	牛久市シルバー人材センター総会	出席29名 会員委任状212名
6月25日	包括契約先進地シルバー状況報告会(ワークビジョン豊洲)	県南シルバー代表センター1名(局長)
	総合福祉センター避難訓練	事務局全職員
【7月】		
7月3日	茨城県南ブロック局長会議	局長
7月4日	茨城県シルバー人材センター連合会安全就業推進大会	役員5名(総務安全委員)、局長
7月8日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、職員2名
7月10日	総務安全委員会就業現場パトロール(剪定現場3か所)	役員5名(総務安全委員)、局長
7月15日	茨城県シルバー人材センター連合会事務局長会議	局長
7月24日	県南4センター連絡会包括契約事前調整(取手SC)	局長、職員1名
7月25日	はじめて講習会	参加者7名、理事1名、次長
7月28日	かつば祭り清掃ボランティア	理事、監事、会員、職員 11名
7月29日	出張入会説明会	参加者9名
【8月】		
8月5日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、次長
8月7日	総務安全委員会	役員5名(総務安全委員)、局長
8月19日	出張入会説明会(中央生涯学習センター)	参加者10名、次長、職員2名
8月22日	NRI(エイジレス)基幹システム入替え	事務局全職員
8月23日	NRI(エイジレス)基幹システム入替え	事務局全職員
8月24日	NRI(エイジレス)基幹システム入替え	事務局全職員
【9月】		
9月5日	ブルーベリー同好会打合せ	会員、局長
9月9日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長、次長
9月10日	会員サイトsmiletosmile登録会	会員22名 次長 職員1名 NRIサポート2名
9月11日	総務安全委員会就業現場パトロール(剪定1、配送倉庫)	役員5名(総務安全委員)、職員1名
9月12日	委員長会議	理事長、役員、局長、次長
9月17日	潮来市シルバー人材センター基幹システム視察	潮来市SC局長、職員3名/局長、次長
9月18日	会員サイトsmiletosmile登録会	会員23名 次長 職員1名
9月24日	理事会	理事13名、監事2名、職員2名
9月26日	はじめて講習会	参加者5名、理事1名、次長
【10月】		
10月6日	独自事業打合せ会(クリーン工房・リサイクルショップ)	会員、局長、職員2名
10月7日	NRI(エイジレス)基幹システム導入支援	事務局全職員
10月8日	NRI(エイジレス)基幹システム導入支援	事務局全職員
10月9日	総務安全委員会就業現場パトロール(就業先1、剪定先2か所)	役員5名(総務安全委員)、職員1名
10月14日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長
10月21日	出張入会説明会(中央生涯学習センター)	参加者4名、次長、職員2名
10月28日	ゴルフ同好会 霞ヶ浦国際ゴルフ場	会員8名

【11月】		
11月11日	事業広報委員会	役員4名(事業広報委員)、局長
11月13日	茨城県シルバー人材センター連合会安全パトロール	県シ連安全対策委員5名、局長、職員1名
	総務安全委員会	役員5名(総務安全委員)、職員2名
11月18日	茨城労働局補助金監査	労働局2名、県シ連2名 局長、次長
11月21日	はじめて講習会	参加者6名、理事1名、次長
11月25日	茨城県シルバー人材センター連合会シルボンヌ交流研修会	理事2名、局長、次長
【12月】		
12月3日	茨城県シルバー人材センター連合会理事長・役員研修	局長
12月6日	牛久シティマラソン参加団体打合せ	局長
12月9日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長、次長
12月11日	総務安全委員会	役員5名(総務安全委員)、局長、次長
12月12日	委員長会議	理事長、役員、局長
12月16日	先進地視察(東京都狛江市シルバー人材センター)	局長、職員1名
12月17日	理事会	理事13名、監事2名、職員2名
12月18日	牛久シティマラソンボランティア事前説明会	局長
【1月】		
1月7日	新年賀詞交換会	理事長、局長
	スマートフォン講習会(ソフトバンク)	参加者20名、Softbank講師5名
1月12日	牛久シティマラソンボランティア(街路・送迎)	理事、監事、会員、職員 総勢15名
1月13日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長、次長
1月14日	茨城県シルバー人材センター連合会派遣会員デジタル明細説明会	局長、次長
1月15日	総務安全委員会	役員3名(総務安全委員)、職員2名
1月22日	県南ブロック連絡協議会新契約準備進捗状況報告会	局長、次長
1月23日	先進地視察(東京都狛江市シルバー人材センター)	局長
	出張入会説明会(中央生涯学習センター)	参加者11名、次長、職員2名
	スマートフォン講習会(ソフトバンク)	参加者20名、Softbank講師5名
1月28日	茨城県シルバー人材センター連合会事務局長会議	局長、次長
【2月】		
2月4日	派遣衛生委員会産業医事前打合せ(牛久薬剤師会)	局長、職員1名
2月9日	独自事業打合せ会(クリーン工房・リサイクルショップ)	担当会員、局長、次長、職員1名
2月10日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、局長、次長
2月12日	総務安全委員会	役員5名(総務安全委員)、局長、次長
	県南4センター連絡会包括契約事前調整(取手SC)	局長、次長
2月16日	県南ブロック連絡協議会女性職員交流研修会	次長、職員2名
2月17日	公正採用等人権研修会	局長
2月19日	茨城県シルバー人材センター連合会派遣有給休暇意見交換会	局長、次長
2月20日	派遣衛生委員会開催状況打合せ会(つくば市SC)	局長、職員1名
2月24日	茨城県シルバー人材センター連合会派遣元責任者研修会	局長、職員1名
【3月】		
3月2日	牛久市総合福祉センター施設改修打合せ	局長、次長
3月5日	茨城県シルバー人材センター連合会派遣有給負担説明会(Zoom)	局長、次長
3月10日	事業広報委員会	役員5名(事業広報委員)、次長
	茨城県シルバー人材センター連合会安全対策講習会	安全委員長、会員3名、局長、職員1名
3月11日	ゴルフ同好会 霞ヶ浦国際ゴルフ場	会員9名
3月12日	総務安全委員会就業現場パトロール(剪定1、不法1)	役員5名(総務安全委員)、局長
3月13日	委員長会議	理事長、役員、局長
3月16日	派遣衛生委員会産業医事前打合せ	局長、職員1名
3月18日	理事会	理事13名、監事2名、次長、職員1名
3月26日	出張入会説明会(中央生涯学習センター)	参加者17名、次長、職員2名

各委員会活動報告

1. 総務委員会

地域貢献活動への参加、会員交流事業の検討及び組織運営上必要な規程整備に取り組んだ。

- ① 牛久かっぱ祭り翌日、清掃ボランティアに参加した。(13名)
- ② 牛久シティマラソン誘導ボランティアに参加した。(14名)
- ③ 会員交流事業として日帰り旅行を計画したが、参加申込者が定員に達しなかったため中止とした。
- ④ 新たな契約方法の包括契約導入に伴い、関係規程の改訂を行った。

2. 安全委員会

安全・適正就業の推進を目的として、就業現場安全パトロール、安全意識の啓発、講習会等への参加及び広報活動を実施した。

(1) 就業現場安全パトロールの実施

- ① 就業現場安全パトロールを年4回実施した。
剪定、除草、車両運転業務の就業先を中心に、安全防具着用状況、熱中症対策、車両点検状況、整理整頓状況等を確認した。
- ② 茨城県シルバー人材センター連合会との合同パトロールを実施した。(11月)
襖・障子張り班及び除草班の作業現場における安全対策等を確認した。

(2) 安全・適正就業への対応

- ① 「安全・適正就業強化月間(7月)」に合わせ、取り組み内容を配布した。
- ② 「安全・適正就業大会」へ参加(7月)
- ③ 県シ連主催「安全・適正就業講習会」へ参加した。(3月)
他センターの事例発表や飛び石事故予防等について研修した。

(3) 交通安全及び安全就業対策

- ① 交通安全講習会の開催を検討したが、講師調整がつかず開催を見送った。
- ② 自家用車・バイク・自転車を含む任意保険加入及び更新の周知を行った。(会報8月号)
- ③ 事故防止勉強会及び班長打合せ会を実施し、安全就業の徹底を図った。

(4) 安全意識の啓発

- ① 安全就業スローガンを募集し、応募作品26点をホームページに掲載した。
- ② 「安全委員会だより」を会報へ掲載した。(8月号、1月号)
- ③ 安全への呼びかけをホームページ及び会員専用サイト「Smile to Smile」に掲載し、継続的な安全啓発に努めた。

3. 事業委員会

会員拡大に向けた周知活動、出張入会説明会及び新入会員向け講習会の実施並びに独自事業の損益把握と対策に取り組んだ。

(1) 会員募集広告の掲載

① 市報「広報うしく」への掲載

7月、10月、12月、3月のそれぞれ1日号へ掲載

出張入会説明会、健康講座「装着型サイボーグ体験会」、仕事募集のPR記事を掲載

(2) 出張入会説明会の開催

① 牛久市中央生涯学習センターにおいて、出張入会説明会を4回開催した。

役員が体験談コーナーを担当し、参加者の理解促進に努めた。

8月、10月、1月、3月 合計42名参加

(3) 市イベント等でのPR活動

① 牛久市社会福祉協議会主催「盛人の日」において、会員募集チラシ30部を配布した。

(4) 新入会員向け講習会の開催

① 「入会后・はじめて講習会」を3回実施し、新会員の円滑な活動開始を支援した。

(5) 独自事業への対応

① 独自事業の拡充に向け、損益の把握を行うとともに、改善対策を実施した。

4. 広報委員会

会報発行、ホームページの充実及び会員向け情報発信の強化に取り組んだ。

(1) 会報の発行

① 会報「シルバーだよりうしく」(8月号、1月号)を発行し、会員への情報提供及びセンター活動の周知に努めた。(1月発行88号を最終号とさせていただきます。)

(2) ホームページの充実

① お知らせ欄の更新、タイトルデザイン及びイラストの作成・更新を行った。

② 当センター事業用システムの入替えに伴い、新システムを最大限有効に活用するため、ホームページの全面リニューアルを実施した。(1月)

③ 新ホームページの掲載内容の提案及び確認体制を強化した。

④ 就業先の訪問取材を行い、会報8月号及びホームページへ掲載した。

(3) 情報発信の強化

① 「デジタル化状況アンケート」を実施し、結果を会報88号及びホームページへ掲載した。

② 9月のシステム移行に伴い、会員専用サイトを「Smile to Smile」へ変更した。

③ 9月に登録会を2回実施し、計45名が参加した。

④ 会員専用サイト「Smile to Smile」による情報提供及び掲載内容の確認強化に努めた。

議案第 1 号

令和 7 年度 収支決算(案)について

公益社団法人牛久市シルバー人材センター令和 7 年度収支決算報告について、
以下の通り提案いたします。

令和8年 6 月 23 日提出

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

理事長 清水治郎

令和7年度公益社団法人牛久市シルバー人材センター

収支決算書(正味財産増減計算書)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	公益目的 事業会計	法人会計	決算額	増減
I 一般正味財産増減の部					
I. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	0		5,500	5,500	5,500
特定資産受取利息	0		5,500	5,500	5,500
受託事業収益	146,900,000	111,929,372	14,598,972	126,528,344	△ 20,371,656
受取配分金	116,300,000	98,066,250		98,066,250	△ 18,233,750
受取材料費等	14,100,000	13,863,122		13,863,122	△ 236,878
受取事務費	16,500,000	0	14,598,972	14,598,972	△ 1,901,028
労働者派遣事業手数料	6,000,000	6,121,633	1,913,304	8,034,937	2,034,937
労働者派遣事業手数料	6,000,000	6,121,633	1,913,304	8,034,937	2,034,937
受取会費	1,300,000	1,170,000		1,170,000	△ 130,000
正会員受取会費	1,300,000	1,170,000		1,170,000	△ 130,000
賛助会員受取会費	0	0		0	0
受取補助金等	25,337,000	25,437,000		25,437,000	100,000
受取連合交付金	12,337,000	12,437,000		12,437,000	100,000
受取市補助金	13,000,000	13,000,000		13,000,000	0
受取寄付金	5,000	0		0	△ 5,000
受取寄付金	5,000	0		0	△ 5,000
雑収益	20,000	40,673		40,673	20,673
受取利息	10,000	35,265		35,265	25,265
雑収益	10,000	5,408		5,408	△ 4,592
経常収益計	179,562,000	144,698,678	16,517,776	161,216,454	△ 18,345,546
(2) 経常経費					
事業費	163,857,324	143,014,572	0	143,014,572	△ 20,842,752
支払配分金	116,300,000	98,066,250		98,066,250	△ 18,233,750
支払材料費等	11,100,000	8,295,645		8,295,645	△ 2,804,355
給料手当	21,398,250	18,486,691		18,486,691	△ 2,911,559
臨時雇賃金	937,500	835,605		835,605	△ 101,895
法定福利費	3,585,750	3,330,781		3,330,781	△ 254,969
退職給付費用	1,597,500	1,565,955		1,565,955	△ 31,545
福利厚生費	75,000	53,641		53,641	△ 21,359
諸謝金	0	2,886,845		2,886,845	2,886,845
通信運搬費	772,500	746,251		746,251	△ 26,249
減価償却費	6,574	151,268		151,268	144,694
消耗品費	539,250	565,324		565,324	26,074
印刷製本費	165,000	81,258		81,258	△ 83,742
賃借料	2,550,000	2,916,233		2,916,233	366,233
保険料	2,000,000	1,949,984		1,949,984	△ 50,016
諸謝金	20,000	9,000		9,000	△ 11,000
租税公課	250,000	211,200		211,200	△ 38,800
支払負担金	315,000	298,050		298,050	△ 16,950
委託費	30,000	0		0	△ 30,000
教材費	30,000	0		0	△ 30,000
訓練委託費	0	9,570		9,570	9,570
地域協力費	10,000	435		435	△ 9,565
雑役務費	2,175,000	2,554,586		2,554,586	379,586
旅費交通費	0	0		0	0
支払手数料	0	0		0	0

科目	予算額	公益目的 事業会計	法人会計	決算額	増減
管理費	15,713,441	0	16,517,776	16,517,776	804,335
役員報酬	800,000		718,000	718,000	△ 82,000
給料手当	7,132,750		6,162,230	6,162,230	△ 970,520
臨時雇賃金	312,500		278,535	278,535	△ 33,965
法定福利費	1,195,250		1,110,260	1,110,260	△ 84,990
退職給付費用	532,500		521,985	521,985	△ 10,515
福利厚生費	25,000		17,880	17,880	△ 7,120
会議費	40,000		4,121	4,121	△ 35,879
旅費交通費	10,000		8,732	8,732	△ 1,268
通信運搬費	257,500		248,749	248,749	△ 8,751
減価償却費	2,191		50,422	50,422	48,231
消耗品費	179,750		188,441	188,441	8,691
什器備品費	0		0	0	0
印刷製本費	55,000		27,086	27,086	△ 27,914
賃借料	850,000		972,077	972,077	122,077
保険料	121,000		0	0	△ 121,000
諸謝金	0		962,281	962,281	962,281
租税公課	3,000,000		3,940,200	3,940,200	940,200
支払負担金	105,000		99,350	99,350	△ 5,650
支払手数料	270,000		262,959	262,959	△ 7,041
雑役務費	815,000		944,468	944,468	129,468
雑費	10,000		0	0	△ 10,000
経常費用計	179,570,765	143,014,572	16,517,776	159,532,348	△ 20,038,417
当期経常増減額	△ 8,765	1,684,106	0	1,684,106	1,692,871
2.経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計			0	0	0
(2)経常外費用					
経常外費用計			0	0	0
当期経常外増減額			0	0	0
他会計振替額				0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,765	1,684,106	0	1,684,106	1,692,871
一般正味財産期首残高				22,102,043	
一般正味財産期末残高				23,786,149	
Ⅱ指定正味財産増減額					
当期指定正味財産増減額				0	
指定正味財産期首残高				0	
指定正味財産期末残高				0	
Ⅲ正味財産期末残高				23,786,149	

投資活動収支の部

科目	予算額	決算額	差異
投資活動収支の部			
投資活動収入	0	0	0
特定資産取得取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
投資活動支出	0	1,624,590	△ 1,624,590
固定資産取得支出	0	1,624,590	△ 1,624,590
什器備品購入支出	0	1,624,590	△ 1,624,590
投資活動支出計	0	1,624,590	△ 1,624,590
当期収支差額	0	1,624,590	△ 1,624,590

貸借対照表

令和8年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,110,000	1,110,000	0
現金(本部)	1,080,000	1,080,000	0
現金(住井文学館券売機釣銭)	30,000	30,000	0
普通預金	17,838,723	17,282,041	556,682
普通)筑波銀行	14,160,817	14,402,073	△ 241,256
普通)常陽銀行	2,677,906	1,879,968	797,938
普通)水戸信用金庫	1,000,000	1,000,000	0
ゆうちょ銀行 33466481	0	0	0
未収金	10,254,124	10,669,480	△ 415,356
未収金	10,254,124	10,616,180	△ 362,056
未収金(リサイクルショップ)	0	53,300	△ 53,300
立替金	252,870	0	252,870
流動資産合計	29,455,717	29,061,521	394,196
2 固定資産			
(1) 特定資産	2,000,000	2,000,000	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	668,508	668,508	0
リサイクル預託金	65,600	65,600	0
什器備品	1,480,416	57,516	1,422,900
その他固定資産合計	2,214,524	791,624	1,422,900
資産合計	33,670,241	31,853,145	1,817,096
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	9,830,792	9,718,593	112,199
未払金(配分金)	9,830,792	9,718,593	112,199
預り金	53,300	32,509	20,791
預り金(本部)	53,300	32,509	20,791
買掛金	0	0	0
流動負債合計	9,884,092	9,751,102	132,990
2 固定負債			
負債合計	9,884,092	9,751,102	132,990
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	23,786,149	22,102,043	1,684,106
(特定資産への充当額)	2,000,000	2,000,000	0
正味財産合計	23,786,149	22,102,043	1,684,106
負債及び正味財産合計	33,670,241	31,853,145	1,817,096

財産目録

令和8年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			1,110,000
	現金(本部)	事務所内金庫	1,080,000
	現金(券売機)	住井文学館	30,000
普通預金			17,838,723
	筑波銀行	牛久中央支店	14,160,817
	常陽銀行	牛久支店	1,877,986
	常陽銀行	牛久東支店	0
	常陽銀行	牛久東支店	799,920
	水戸信用金庫	牛久支店	1,000,000
未収金		運営資金として 受託事業請求分	9,620,493
		派遣事業手数料	633,631
未収金		独自事業(リサイクルショップ)	0
立替金		独自事業(リサイクルショップ)	252,870
流動資産合計			29,455,717
2 固定資産			
	車両運搬具	トラック他計10台	668,508
		(共有財産)	501,381
		うち公益目的保有財産75%	167,127
		うち管理目的の財源として使用する財産25%	65,600
		(共有財産)	49,201
		うち公益目的保有財産75%	16,399
		うち管理目的の財源として使用する財産25%	1,480,416
	什器備品	PC他計9品	1,110,312
		(共有財産)	370,104
		うち公益目的保有財産75%	2,214,524
		うち管理目的の財源として使用する財産25%	1,660,894
共有財産計			553,630
特定資産	固定資産購入積立金		2,000,000
固定資産合計			2,214,524
資産合計			33,670,241
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			9,830,792
	未払金(本部)	3月分配分金等	9,830,792
預り金			53,300
流動負債合計			9,884,092
負債合計			9,884,092
III 正味財産の部			
一般正味財産			23,786,149
	(特定資産への充当額)		2,000,000
正味財産合計			23,786,149
負債及び正味財産合計			33,670,241

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品については定額法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によって対応している。

2. 担保に供している資産

該当事項なし。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	16,156,615	15,488,107	668,508
リサイクル預託金	65,600	0	65,600
什器備品	2,599,590	1,119,174	1,480,416
合 計	18,821,805	16,607,281	2,214,524

4. 保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額並びに残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末 残高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照 表上の記 載区分
補助金						
高齢者就業機会確保事業費等 補助金	茨城県シルバ ー人材センター	0	6,939,000	6,939,000	0	
雇用開発支援事業費等補助金	連合会	0	5,398,000	5,398,000	0	
牛久市シルバー人材センター 運営費補助金	牛久市	0	13,000,000	13,000,000	0	
女性拡大支援事業交付金	茨城県シルバ ー人材センター 連合会	0	100,000	100,000	0	
合 計		0	25,437,000	25,437,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	固定資産購入資金	2,000,000	0	0	2,000,000
	特定資産計	2,000,000	0	0	2,000,000

2. 引当金の明細

該当事項なし

会計監査報告書

令和8年5月12日

公益社団法人牛久市シルバー人材センター
理事長 清水 治郎 殿

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

監事 池 井 一 夫 

監事 相 秀 雄 

私達監事は、公益社団法人牛久市シルバー人材センターの令和7年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の概要

- 1 会計監査について、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討した。
- 2 業務監査については、理事から実施事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- 1 公益社団法人牛久市シルバー人材センターの令和7年度の財務諸表は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており公益社団法人牛久市シルバー人材センターの正味財産増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める。
- 2 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」に従って、公益社団法人牛久市シルバー人材センターの収支の状況を適正に表示しているものと認める。
- 3 公益社団法人牛久市シルバー人材センターの令和7年度事業報告の内容は真実であると認める。
- 4 公益社団法人牛久市シルバー人材センターの理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

議案第 2 号

役員報酬支給総額の承認(案)について

役員報酬等の支給総額の承認(案)について、次の通り提案いたします。

令和8年 6 月 23 日提出

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

理事長 清水治郎

役員報酬等支給総額の承認(案)について

定款第 28 条第 1 項に規定する「総会において定める総額の範囲内」は、
年額 73 万円以内とする。

【参考】定款(抜粋)

(役員報酬等及び費用)

第 28 条 理事又は監事には、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

2 理事又は監事には、その職務を行うために要する費用を弁償することができる。

議案第 3 号

理事の選任(案)について

公益社団法人牛久市シルバー人材センター理事の選任について、定款第 13 条並びに第 22 条第 1 項、第 23 条第 1 項の規定により議決を求めます。

令和8年 6 月 23 日提出

公益社団法人牛久市シルバー人材センター

理事長 清水治郎

理事の選任(案)について

牛久市の人事異動に伴う理事(保健福祉部長)の辞任ならびに、理事の選任(追加)により、理事候補者の選任について総会に提出するものである。

記

牛久州市役所退職による辞任

役員	氏名	職名
理事	渡辺恭子	牛久市保健福祉部長

新理事

役員	氏名	職名
理事	石塚 悟	牛久市保健福祉部長

【参考】定款(抜粋)

(役員任期)

第26条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 理事又は監事は、第22条第1項で定める定数が欠けた場合には、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

4. 補欠により選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。